



たちばな教養学校 Ukon第6期
京都市長・松井 孝治氏による特別授業
「政治の言葉を問い直そう」を開講

日 時：2025年12月11日（木）

第一部：公開講座 19：00～20：30／第二部：談話会（放課後トーク） 20：30～21：30

場 所：第一部 QUESTION 7 階「クリエイティブ・コモンズ」

第二部 QUESTION 8 階「DAIDOKORO」

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）が運営する社会人向け公開講座「たちばな教養学校 Ukon」では、12月11日（木）京都市長・松井孝治氏をお迎えし、「政治の言葉を問い直そう」をテーマにお話しいただきます。

古典音楽や芸能に親しまれ、官界、政界、大学教育の現場など多様なフィールドでご活躍されている松井市長に、現代社会に求められる政治のコミュニケーションについてご自身の経験をふまえながら、考察していただきます。

また、第一部の授業終了後は、特別企画として、松井市長と学頭・河野通和氏（編集者・読書案内人）と参加者による談話会「放課後トーク」を開催します。「放課後トーク」では、言葉がもつ可能性、人の心を動かす力を信じて大切に紡いでこられた政治家・松井氏と編集者・河野氏を囲みながら、今、社会や次世代へ「伝えたいこと」について参加者とともに対話します。少人数ならではの距離感の中で、第一部の授業では伝えきれなかった話題などにも触れていただく予定です。

たちばな教養学校 Ukonは、「生きる」ことを深く味わい、人生を豊かにする学びの場として2023年5月に開講し、のべ1,145名の方が受講をされています。第6期（2025年11月～2026年2月）のテーマは「伝える——思いを、言葉と行動で」としています。各回多彩な講師をお迎えし、河野氏が学びのナビゲーターとして参加者とともに対話する場を大切にしています。

【たちばな教養学校 Ukon第6期 第3回講座 概要】

日時：2025年12月11日（木）

第一部：公開講座 19：00～20：30／第二部：談話会（放課後トーク） 20：30～21：30

会 場：第一部 QUESTION 7 階「クリエイティブ・コモンズ」

第二部 談話会（放課後トーク） QUESTION 8 階「DAIDOKORO」

京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2

講 師：松井 孝治 氏（京都市長）

テーマ：政治の言葉を問い直そう

定 員：先着100名 ※事前予約制、参加費2,500円

申込方法：以下URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込みURL：<https://www.tachibana-u.ac.jp/ukon/index.html>

問合先（一般の方）：たちばな教養学校 Ukon事務局（京都橘大学 生涯教育・通信教育課）

TEL：075-574-4335／MAIL：ukon@tachibana-u.ac.jp

【講師プロフィール】

■松井 孝治（まつい こうじ）

1960年京都生まれ。東京大学教養学部卒。1983年通商産業省入省、首相官邸への出向や行財政改革の中枢を担う。2001年参議院議員選挙に初当選（民主党所属）、鳩山内閣官房副長官を務めた。2013年政界引退後、慶應義塾大学で10年間教鞭をとる。2024年2月京都市長就任。



●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp



■第6期授業概要（3講座目以降）について（開催日時、テーマ、講師、プロフィール）

	開講日時	テーマ	講師
4	2025年12月26日（金） 19：00～20：30	非凡に通じる、洗練された平凡	村岡 恵理 （作家）
5	2026年1月10日（土） 14：00～15：30	万葉びとからの学び ——山上憶良という歌人	上野 誠 （國學院大學文学部教授・ 万葉集研究者）
6	2026年1月29日（木） 19：00～20：30	未来に向けられた問い	稲泉 連 （ノンフィクション作家）
7	2026年2月13日（金） 19：00～20：30	アート体験を仕掛ける	長谷川 祐子 （キュレーター・前金沢21世紀 美術館館長、京都大学経営管理 大学院客員教授）
8	2026年2月28日（土） 14：00～16：00	“教養、を哲学しませんか	永井 玲衣 （哲学者・作家）

【講師プロフィール】

④村岡 恵理（むらおか えり）：作家

1967年東京生まれ。『赤毛のアン』などの翻訳で知られる祖母の評伝『アンのゆりかご 村岡花子の生涯』を刊行。NHK連続テレビ小説「花子とアン」の原案となる。姉の美枝氏と2015年まで「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」を主宰。著作に『ラストダンスは私に 岩谷時子物語』他。

⑤上野 誠（うえの まこと）：國學院大學文学部教授・万葉集研究者

1960年福岡生まれ。奈良大学名誉教授。博士（文学）。万葉文化論の立場から歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提唱。日本民俗学会研究奨励賞、上代文学会賞、角川財団学芸賞、立命館白川静記念東洋文字文化賞等受賞。著書多数。

⑥稲泉 連（いないずみ れん）：ノンフィクション作家

1979年東京生まれ。早稲田大学第二文学部卒。2005年『ぼくもいくさに征くのだけれど——竹内浩三の詩と死』で第36回大宅壮一ノンフィクション賞を史上最年少で受賞。主な著書に『復興の書店』『サーカスの子』など。2025年『パラリンピックと日本人』でミズノスポーツライター賞最優秀賞を受賞。

⑦長谷川 祐子（はせがわ ゆうこ）：キュレーター・前金沢21世紀美術館館長、
京都大学経営管理大学院客員教授

京都大学法学部卒。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。同大学名誉教授、国際文化会館アートデザイン部門プログラムディレクター、前金沢21世紀美術館館長。これまで海外各地でのビエンナーレや日本文化を紹介する多数の国際展を企画。著書に『キュレーション知と感性を揺さぶる力』など。

⑧永井 玲衣（ながい れい）：哲学者・作家

東京生まれ。人びとと考えあい、ききあう場を各地でひらく。問いを深める哲学対話や、政治や社会について語る「おずおずダイアログ」などでも活動。著書に『水中の哲学者たち』『世界の適切な保存』『さみしくてごめん』。第17回「わたくし、つまりNobody賞」受賞。詩と植物園と念入りな散歩が好き。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp